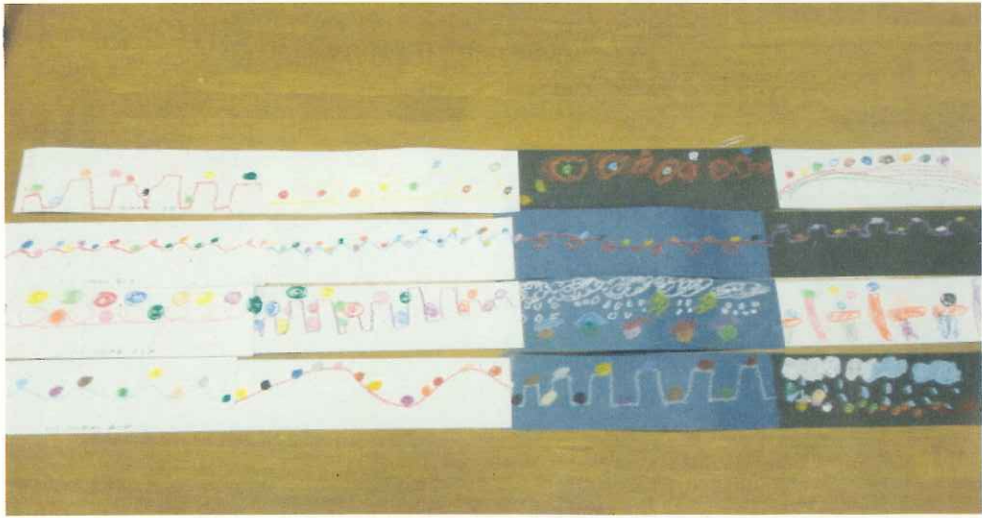


題材名	ころころころ		
1 学年	2 時間	杉並第六小学校	指導者 森本ちはや
ねらい	<p>○はじめての図工の授業を楽しいと感じさせる。</p> <p>○絵本から発想を広げ、いろんな道を考え、ころころさせる。</p>		
意識した かかわり	<p>どんな道を想像するか、描きながら面白い道を取り上げ、クラス全体の発想を広げていく。</p>		
材料・用具	<p>絵本「ころころころ」(作:元永 定正)</p> <p>クレパス 白・紺・黒の細長く切った画用紙 のり</p>		
学習の流れ 内容 指導の ポイント 写真 等	<ol style="list-style-type: none"> 1 絵本「ころころころ」を読み聞かせする。 2 絵本にどんな道が出てきたか問う。 例: でこぼこみち、あかいみち、くものみち 3 「ころころころ」を自分で描くことを伝える。 指導者が前で1枚描いて見せる。 「あれっ、道が終わっちゃった! どうしよう?」 →紙をつなげればいい! という意見が出る。 (「次のページに行けばいい!」という意見も出た。) 4 白い画用紙を1枚渡して、ころころころを描く。 5 1枚描けたら、何名かの道を全体に紹介する。 例: くるくるみち、やまみち、落とし穴のみち 6 2枚目を描く。 7 3枚目に入る子が出たら、紺と黒の画用紙を出し、 「暗い道にも行ってみたい人はどうぞー!」と促す。 8 一人4枚まで描いたら終わり。 (掲示等の関係で… 個人的にはいけるところまで描かせたかった。) 		
			
評価	<p>○いろんな道を自由に発想して描くことができたか。</p>		